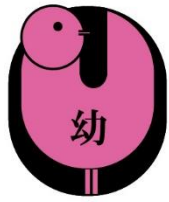


令和4年 6月 1日
新潟市立牡丹山幼稚園



牡丹だより

第3号

【ホームページ】 <http://www.botanyama-k.city-niigata.ed.jp>



～プランターで
育てたイチゴ～



路線バスに乗って

新潟市美術館で開催されていた「絵本原画の世界 2022」へ出掛けてきました。

路線バスの停留場所「牡丹山 5 丁目」から乗車し、新潟駅南口で降車。工事中的新潟駅構内の通路を通って、再び新潟駅前から路線バスに乗車。新潟市美術館近くの「西堀通 8 番町」でバスを降りました。バスの大きな階段に足をかけたり、降りる合図を知らせるボタンを押すのを待ち構えたりするドキドキ、ワクワクは、ちょっとした冒険に出かけたようでした。

美術館では、他のお客様もいることを知らせ、静かに観ることを伝えて入館しました。少し薄暗い美術館の雰囲気子どもたちも感じて、おしゃべりするときは小声になっていました。

そして、知っている絵本の原画を見付けると、頭を寄せ合って眺めていました。特に、『はじめてのおつかい』のコーナーでは、1カットごとの原画が壁に並び、同じページのラフスケッチがガラスケースに展示されていました。年長児が白黒の鉛筆画をのぞき込みながら「あれ？お母さんの髪型がちがうね。」と原画とラフスケッチの違いに気付きました。大人から見てもお母さんの年齢設定も少し変わっているように感じました。さらに「こっちには鍋とやかんがあるけど、こっちにはないよ。」と次々に原画にある絵とラフスケッチの絵を見比べていました。ラフスケッチの「お母さん」は髪が少し長めで、「やかん」だけがモクモクの湯気を出して沸いている様子が描かれています。見慣れている絵本だからこそその発見を楽しむ子どもたちでした。



子どもは、よく観ているものですね。大好きな絵本を新しい視点をもって観る子どもたちの姿に、大人の私たちも新たな絵本の楽しみに気付かせてもらいました。

当園のびよびよ文庫でふれる絵本とはひと味ちがう美術館での体験や、公共の場でのふるまいを経験していくことで、子どもが生活の中で新しい情報をキャッチするきっかけを見付けてくれるといいなと思います。

これからも園児 8 人だからこそできる教育活動に取り組んでいきます。



「はじめてのおつかい」(福音館書店)
筒井頼子さく 林 明子え



PTA 活動～おうちの人と一緒に～

今年度のPTA活動は、これまで以上に保護者の皆さんに保育へ参画してもらい、子どもの成長をともに感じてもらおうと取り組んでいます。5月は、夏の花苗を選んで親子で植えたことと、保護者対象の「絵本講演会」をオンラインで実施しました。特に、絵本講演会で絵本が作られるまでの話を聞いて、「毎月、楽しみにしている絵本を今まで以上に大切にしたいです。」という感想をいただきました。



「親子苗植え」



「保護者向け絵本講演会」



学校評議員会(5/30)

保育参観と幼稚園の経営方針説明をしました。幼稚園で子どもの実体験を重視し、五感を通した学びを大切にしていることがよく分かった。まさに「主体的・対話的で深い学び」の芽を育てていること。幼稚園時代の楽しかった原体験と幸せ感が大人になってからも心の支えになっていくこと。子育てほど尊いものはない！だからこそ保護者ととともに未来をつくる子どもを育てていこう！等々話題はつきませんでした。幼稚園を応援していただいていることに感謝し、8名の子ども成長のために、豊かな生活をつくっていきます。

【学校評議員】

- 中村 雅芳 様 (牡丹山小学校長)
- 中山 知子 様 (元市立幼稚園長)
- 小野 聡 様 (牡丹山幼稚園後援会長)
- 五十嵐 キミイ 様
(元図書館司書“りんごの会代表”)
- 木間 理 様 (牡丹山幼稚園PTA会長)

木戸中2年生の訪問(5/17)

幼稚園の仕事について調べに来園しました。幼稚園は学校の一つで「遊びながら学んでいる」ということに関心もったようでした。



交通安全教室後、横断歩道のない道路の渡り方を体験。



寺山公園で、たくさん走りました！



いーてらすで、みんなの作ったこいのぼいご対面！



1,100m歩いて、野菜の苗を買に行きました。



サッカー教室、ドリブルはちょっと難しいよ。



238粒のピカピカのサクランボを収穫！